

# 平成28年度 中学校における『学び合いの授業づくり』第3回公開授業・公開研究授業・研究協議会・講演会(馬場宏明先生)

## 2016.11.11(金) 学び合いの授業づくり 「脳みそに汗をかこう!!」

11月11日(金)に、本年度第3回目の「学び合いの授業づくり公開授業・公開研究授業・公開研究協議会」を実施し、「学びの共同体スーパーバイザー」の馬場宏明先生に本校に参校いただき、本校の学び合いの姿を見ていただきました。午前中3・4限の公開授業では、和歌山市の原教育長の参観というサプライズもありました。また、午後からの研究授業では、2年生の国語の授業を本校の江田太郎先生に提案していただき、市内各中学校からも多くの先生方の参観もありました。

江田先生の授業では、「扇の的～平家物語」の範読により、登場人物の位置を読み取らすために生徒一人一人が教科書の大事な箇所にも線を引くことから始まりました。その後、グループ形態になり、読み取ったことを一人一人がプリントにまとめ、それをグループの中でホワイトボードにまとめていく、そしてそれを発表する、と授業が展開していきました。「まずは独りで考えよう」、「教科書を根拠にして自分の考えをまとめよう」、「わからなかったらグループで考えよう」など適切な指示があり、生徒の学び合いが成立した授業となりました。

その後、「教員も学ぶ」ということで、提案授業を生徒達の学びに視点を当てて、①どこで学びが成立したか、②どこで学びがつまづいたか、③どこに学びの可能性があったか、を教員相互でグループ協議を行い各グループで発表し、馬場先生から助言をいただきました。

馬場先生からは、「話し合うだけのグループ学習では学びが深まらない」

「自分の知識や体験を話し合わせるグループ学習は、学び合いではなく単なる発表会」

「今日の江田先生の授業では、教科書を根拠にして自分の考えを書かせていたため、子ども達は学び合うことができていた」

「教師が教え込む学習では、大事なことは全部教師がしゃべってしまうので、子どもの学びは成立しない」

「学ばせるグループ学習、考えさせるグループ学習、脳みそに汗をかかせる授業が大事」等の助言がありました。

### 公開授業3・4限(学びの風景)



1年理科(実験前の説明)



1年国語(根拠を探す)



1年技術(聴き合う関係)



2年英語(グループ内で協働)



2年家庭(裁縫実習)



2年社会(考えたことを発表)



3年英語(自分考えをまとめる)



3年理科 (グループの考えを発表)



3年社会

公開研究授業(2年2組 国語 江田太郎先生)



公開研究協議会(馬場宏明先生)

